

令和 5 年度 農林水産部 組織目標と成果

課名等	農林しいたけ課	全体	26
		個別	07-01

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	持続可能な農林水産業を展開する											
項 目		対馬しいたけ振興事業											
取組の内容		対馬しいたけの生産農家としては、少雨や寒波など気象による不作や生産者の高齢化、担い手不足が課題となっていることから、しいたけ種駒補助事業を継続しつつ、作業の効率化を目的とした研修会の開催や担い手不足解消のための新規参入者の確保に向けた取組を行います。											
指標（数値目標）		○しいたけ生産推進 種駒補助 700万個 ○研修会等 2回											
SDGs指標					達成時期			令和6年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
しいたけ種駒補助		→								→			
研修会等								■				■	

指標 に対する 実績	（※年度終了後に記載します。）	
評 価	（※年度終了後に記載します。）	
	評価記号	
今 後 の 展 開	（※年度終了後に記載します。）	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 農林水産部 組織目標と成果

課名等	農林しいたけ課	全体	27
		個別	07-02

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する											
項 目		学校給食地産地消推進											
取組の内容		学校給食において、対馬の特産品である原木栽培しいたけや対馬あか牛をはじめ、農林水産物やジビエ、その加工品を購入するにあたっての補助金を交付します。											
指標（数値目標）		第3次対馬市食育・地産地消推進計画（R4～R8）において定めたとおり、学校給食における対馬産の農林水産物を使用する割合（金額ベース）を15.0%以上に維持します。											
SDGs指標		 						達成時期		令和9年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校給食における地産地消推進		→											
意見交換会		■									■		

指標 に 対 す る 実 績	（※年度終了後に記載します。）	
評 価	（※年度終了後に記載します。）	
	評価記号	
今 後 の 展 開	（※年度終了後に記載します。）	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 農林水産部 組織目標と成果

課名等	水産課	全体	29
		個別	07-04

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	持続可能な農林水産業を展開する											
項 目		水産業者や漁村への支援											
取組の内容		<p>漁業者の減少・高齢化、若年層の島外流出などにより、島の基幹産業である水産業は徐々に生産量が減少するとともに、後継者不足が深刻化しています。</p> <p>漁村の賑わいを取り戻すために、地域漁業者、行政、漁協等が一体となって新規漁業者の育成・確保に向けた支援を行います。</p>											
指標（数値目標）		<p>CATV（出演放送、文字放送）、広報、公式ホームページを活用した新規漁業研修生募集の周知広報を行い、併せて生活費を支給することで、新規就業者数を増やします。また、新規漁業研修制度を広く周知するため、年間を通して公式ホームページに掲載します。</p> <p>新規漁業研修生の確保：8名</p>											
SDGs指標					達成時期			令和6年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
漁業研修生の募集													
面接試験													
採用決定													
新規漁業研修生へ生活費を支給													
新規漁業研修制度を公式ホームページへ掲載													

指標 に対する 実績	（※年度終了後に記載します。）	
評 価	（※年度終了後に記載します。）	
	評価記号	
今 後 の 展 開	（※年度終了後に記載します。）	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 農林水産部 組織目標と成果

課名等	水産課	全体	30
		個別	07-05

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	豊かな自然環境を取り戻す											
項 目		磯焼け対策の実施											
取組の内容		植食性動物による海藻類の食害が顕在化し、藻場が衰退しているため食害生物の駆除促進と有用資源としての活用を図ります。 ①漁業者や活動組織間の連携・情報共有による食害生物の駆除促進 ②島内定置網業者、漁協、対馬市水産加工連絡協議会等との連携による食害生物の利活用											
指標（数値目標）		①漁業者や活動組織間での意見交換会及び優良事例発表会の開催 ⇒年1回以上 ②定置網に入網した食害魚の島内水産加工業者への流通 ⇒30 t											
SDGs指標		 				達成時期		令和6年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
意見交換会・優良事例発表会									■				
漁業集落・活動組織による食害生物駆除、岩盤清掃、海藻種苗投入		→											
食害魚の定置網による漁獲				■									
冷凍保存された食害魚の加工・販売		→											

指標に対する実績	（※年度終了後に記載します。）	
評価	（※年度終了後に記載します。）	
	評価記号	
今後の展開	（※年度終了後に記載します。）	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）